

やさしさに逢える

星野富弘 花の詩画展

in 宇都宮

母という文字の中に
 遠い昔の人よ
 あなたにも
 優しいお母さんが
 いたのでしょお
 時代は変わりましたが
 今の子供達も皆
 母が大好きです
 お母さんが大好きですよ



苺 ©Tomihoro Hoshino

2025

4/5 土 - 14 月 会期中 無休

開場時間 ▶ 午前10時～午後7時 (入場は午後6時30分まで)

入場料 ▶ 一般500円 小中学生、80歳以上無料 障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名無料

会場 ▶

福田屋ショッピングプラザ宇都宮店
3階大催事会場

栃木県宇都宮市今泉町237 Tel. 028-623-5111



特別協力：富弘美術館

主催：星野富弘花の詩画展を栃木県で開く会 共催：株式会社福田屋百貨店

後援：栃木県／宇都宮市／栃木県教育委員会／宇都宮市教育委員会／(福)栃木県社会福祉協議会／(福)宇都宮市障害者福祉会連合会／峰町キリスト教会／
 (公財)とちぎYMCA／(福)とちぎYMCA 福祉会／ワズメンズクラブ国際協会宇都宮東クラブ／(株)下野新聞社／NPO法人障がい者福祉推進ネットちえのわ／
 栃木県女子体育連盟／認定NPO法人チャレンジド・コミュニティ／(一社)宇都宮観光コンベンション協会／宇都宮北ロータリークラブ／ひばりクリニック／
 認定NPO法人もうひとつの美術館／栃木県PTA連合会

協力：(株)偕成社／(株)Gakken／いのちのことば社／グロリアアーツ(株)／富弘美術館を囲む会／(一社)樹脂粘土 野の花・野草アート協会

ごあいさつ

群馬県みどり市立「富弘美術館」はテーマに『やさしさにいつでも逢える』を掲げて、星野富弘氏の作品を展示し、開設30年で700万人の来場者を迎えています。

花の詩画家・星野富弘氏は中学校教師として赴任した2か月後、クラブ活動指導中の事故で頸髄を損傷して手足の自由を失います。しかし、生きる証を求めて口に筆をくわえて文字や絵を描くようになり、その作品に触れた人たちに大きな感動を与え、全国に多くのファンがいます。その作品展は日本各地ばかりでなく海外でも開催されています。

本県においては2000年までに8回開催されましたが、今回、福田屋百貨店を会場に25年ぶりの詩画展を開催する運びとなりました。

星野富弘氏は4月に惜しまれながら78年の生涯を終えましたが、残されたたくさんの作品を通して、いつまでも私たちに勇気とやさしさを伝えてくださると思います。

ご家族、ご友人などとお誘いあわせの上、心豊かなひとときをお過ごしいただければ幸いです。

主催者 『星野富弘花の詩画展を栃木県で開く会』
会長 塚原 美唱

イベントのお知らせ

※ワークショップ参加料は当日講師にお支払いください。

4/5
日

午前10時10分～ **オープニングセレモニー**
場所：3階大催事会場前特設会場

先着100名様に
プレゼントがあります

午後1時30分～
2時50分 **ギャラリートーク**
場所：展示室

4/6
日

ワークショップ **樹脂粘土体験アート**
午後1時30分～
2時50分
講師：樹脂粘土野の花野草アート協会
樹脂粘土で「ツクシとスギナ」を作ります。
場所：3階大催事会場前特設会場
料金：3,500円



事前予約TEL ▶ 03-6825-6830

限定5組

受付時間：平日午前9時～午後5時 締め切り：4/3(木)午後5時まで

4/12
日

午前11時～
12時 **Ks(ケース) ミニコンサート**
場所：3階大催事会場前特設会場
ゴスペルクワイアHeaven's Joyのリードボーカル
KaoriとKazuyoによるデュオ。ゴスペルコンサート
や各種イベントにて息の合った演奏を届ける。
近年では小中学校でのミニライブやワークショップ
等も行い、ゴスペルの持つ希望のメッセージを
届けながら活動の場を広げている。



ワークショップ **ペーパークラフト体験「切り紙モビール」**
午後1時30分～
2時30分
講師：バビアクリップ
たんぼぼ、てんとう虫の切り紙モビールを
作ります。



場所：3階大催事会場前特設会場
料金：500円
対象：小学校3年生以上（小学生は保護者同伴）

事前予約TEL ▶ 044-833-2552

限定12組

受付時間：平日午前9時～午後5時 締め切り：4/9(水)午後5時まで

4/13
日

ワークショップ **ディンプルアートで花を描こう**
午前11時～
午後2時
講師：ディンプルアートインストラクター
ぬり絵感覚でステンドグラス風の素敵な
作品が作れます。
場所：3階大催事会場前特設会場
料金：300円



当日どなたでも体験できます



星野 富弘プロフィール

- 1946年 群馬県に生まれる。
- 1970年 体育の教諭になるが、クラブ活動の指導中頸髄損傷、手足の自由を失う。
- 1972年 口に筆をくわえて詩や絵を書き始める。
- 1981年～ 雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を開始。
- 1982年 高崎で「花の詩画展」開催。以後、全国各地で「花の詩画展」を開催。
- 1991年 群馬県勢多郡東村(現みどり市)に村立富弘美術館開館。
- 1994年～ ニューヨーク・ハワイ・サンフランシスコ・ワルシャワなど海外でも「花の詩画展」を開催。
- 2005年 (新) 富弘美術館開館。
- 2021年 富弘美術館開館30周年。富弘美術館の入館者数が700万人を超える。
- 2024年 逝去。
みどり市名誉市民(第一号)の称号を贈られる。

詩画や随筆は教科書にも掲載され、全国で「花の詩画展」を開催している。著書多数。

主な著書

- 「新装版 愛、深き淵より。」
- 「新編 風の旅」「風の詩」 (Gakken)
- 「詩画とともに生きる」
- 「鈴の鳴る道」「かぎりなくやさしい花々」「速さのちがう時計」
- 「あなたの手のひら」「花よりも小さく」「種蒔きもせず」
- 「足で歩いた頃のこと」 (偕成社)
- 「山の向こうの美術館」 (富弘美術館・偕成社)
- 「銀色のあしあと」「たった一度の人生だから」「ことばの雫」
- 「いのちより大切なもの」「あの時から空がかわった」 (いのちのことば社)

ミュージアムショップのご案内



3階大催事会場出口付近で販売します。

会場のご案内



福田屋ショッピングプラザ宇都宮店
3階大催事会場

栃木県宇都宮市今泉町237 Tel. 028-623-5111
無料シャトルバス運行中

ウェブサイト ▶ 福田屋ショッピングプラザ宇都宮店

<https://www.fukudaya.net/store/utsunomiya.html>